

請願番号	151	受理年月日	平成19年11月9日
件名	来年4月から実施される「後期高齢者医療制度」は中止し撤回を求める意見書を政府に提出することについて		
紹介議員	加川義光		
<p>〔請願趣旨〕</p> <p>2008年4月からの後期高齢者医療制度は、余りにも問題が多すぎる制度です。制度を知れば知るほど高齢者が生きる希望を失う医療制度であることが分かります。高齢者は「年寄り早く死ねと言わんばかりの医療改革だ」とみんな怒っています。</p> <p>75歳以上の全ての高齢者を他世代から切り離し負担増と差別医療を押し付けるこの制度は直ちに中止すべきと考えます。第一に、高い保険料を年金から有無を言わず「天引き」するとともに、払えない高齢者からは保険証を取り上げることは国民皆保険制度から逸脱する行為です。第二に、高齢者に差別医療を押し付け、まともな医療を受けさせないなど空前の大改悪であり、国民皆保険制度に反する行為です。こうした年齢による差別医療制度は世界でも例がありません。</p> <p>以上の趣旨を充分ご理解いただき、今議会で政府に意見書を送付してください。</p> <p>〔請願事項〕</p> <p>2008年4月からの「後期高齢者医療制度」は中止し、撤回を求める意見書を政府に送付してください。</p>			

請 願 番 号	1 5 2	受 理 年 月 日	平 成 1 9 年 1 1 月 9 日
件 名	後期高齢者医療制度について保険料の独自減免の創設と、資格証明書を発行しないことを求める請願		
紹 介 議 員	加 川 義 光		
<p>〔請願趣旨〕</p> <p>2008年4月から後期高齢者医療制度実施を前に、制度の内容を知った高齢者やその家族から不安の声が急速に広がり、来年度の実施・凍結、全面見直しを求める声が上がっています。</p> <p>今回の制度では、家族に扶養されている人を含めて、75歳以上のすべての後期高齢者から年額平均99,400円（県広域連合試算）の保険料が徴収されるためです。</p> <p>住民の不安の声に応じて、岡山県や神奈川県の後期高齢者医療広域連合が「保険料の減免の検討」を広域連合議会で約束し、具体的な検討に入っています。</p> <p>今までは老人医療の対象者は、「資格証明書発行の対象でない」とされてきました。しかし、新制度では保険料の滞納者に、医療費の全額をいったん窓口で払わなければならない、資格証明書が発行されることになっています。</p> <p>すでに国民健康保険では、保険証を取り上げられ、病院にも行けずに、亡くなった方も生まれています。複数の疾患を抱える高齢者にとって、命綱をたつに等しい仕打ちです。</p> <p>よって、埼玉県後期高齢者医療広域連合議会に対して以下の点について請願します。</p> <p>〔請願項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保険料の減免制度を独自につくってください。 2 資格証明書を発行しないこと。 			

請 願 番 号	1 5 3 ~ 3 0 1	受 理 年 月 日	平 成 1 9 年 1 1 月 9 日
件 名	後期高齢者医療保険料の独自減免の創設と資格証明書の発行停止を求める 請 願 (1 4 9 件)		
紹 介 議 員	加 川 義 光		
<p>〔請願趣旨〕</p> <p>2008年4月から後期高齢者医療制度が発足するにあたり、埼玉県後期高齢者医療広域連合が設立されて準備が進められているところであります。</p> <p>今回の制度では、これまで家族に扶養されている人も含めて、75歳以上のすべての高齢者から年額平均 99,400 円といわれる保険料が徴収され、高齢者をはじめとした住民のなかに、「もうこれ以上は負担に耐えられない」という声がひろがってきています。</p> <p>これら住民の不安の声に応えて、神奈川県や岡山県など、後期高齢者広域連合のなかに「保険料の減免の検討」を公約し、具体的な検討に入っているところがでてきています。埼玉の広域連合としても、被保険者の身近な生活実態・要求に応じて保険料負担の軽減をはかるために、独自の減免制度の創設がのぞまれます。</p> <p>また、今期の制度では、保険料の滞納者には保険証を交付せずに、かかった医療費をいったん窓口で全額負担させる「資格証明書」を発行することが決められています。国民健康保険制度では、「資格証明書」を発行されたために、病院にも行けずに手遅れで死亡した人も生まれています。とくに、複数の疾患をかかえた 75 歳以上の高齢者から保険証をとりあげることは、命綱をたつにも等しい仕打ちといえ、「資格証明書」の発行の停止が つよくのぞまれます。</p> <p>〔請願事項〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保険料の独自減免制度をつくってください。 2 「資格証明書」を発行しないでください。 			